

「まちづくりファンド」は、高知市に住むあなたのまちづくり活動を応援します

公益信託高知市まちづくりファンドニュース

まちファン

33号

2019年10月31日

2019年度公益信託「まちづくりファンド」公開審査会
2018年度公益信託「まちづくりファンド」最終発表会



まちづくり一歩前へコースは、1事業3回まで助成を受けることができます。今回3度の助成を受けて卒業する事業が2団体あります。今後の活躍を期待します！

卒業します

アート×地域。キャンプ・防災減災プログラム

シアターTACOGURA (しあーたこぐら)

藤岡 武洋さん

まちづくり一歩前へコース卒業にあたり、お役に立てればと寄稿いたします。

これから活動を始められる皆さまにはあらゆる制約の中で、以下のことを問い続けてもらいたいと思います。

それは「自らの欲求はなにか」「地域の課題はなにか」「両者を結び付ける方法と目標」「結果に対する考察」です。

全てが望む結果になるとは限りません。ですが、このサイクルを粘り強く続けることであなたや市民は変化し、高知がより元気に豊かになる未来が訪れるのだと信じています。



▲命を守る減災プログラム



▶防災脱出ゲーム

卒業します

人と猫が共生できる街づくり～地域猫活動～

高知地域猫の会

澤田 佳子さん

皆様、3年間大変お世話になりました。年に3回の発表会と資料作りは大変でしたが、目標設定や報告書作りなど、活動をマネジメントすることを学びました。

卒業するのは寂しいですが、また新しい形で再挑戦したいと思います。有難うございました。



▲下知地区防災訓練



▲南竹島町手術済みネコ



▲晴海団地連絡会

E まちづくり
たまごコース



身近なまちづくり活動に取り組むにあたって、事前学習会、企画の準備・計画などに対し助成します。詳しくは市民活動サポートセンターまで！

上限
3万円

NEW !

たまごコース募集中!

2019年8月～2020年2月までに実施する事業の助成です！応募期間は2019年12月21日(土)まで

挑戦しやすいよ!

2019
7/21

2019年度公益信託「まちづくりファンド」公開審査会

今年度は応募団体・一般を合わせて82名が参加しました。

●応募状況

	【A】学生まちづくりコース	【B】まちづくりはじめの一步コース	【C】まちづくり一步前へコース	【D】まちづくり拠点整備コース
応募事業数	応募なし	2事業	18事業	2事業
採択事業数	応募なし	2事業	12事業(16事業中)	1事業

●Bコース

事前の書類審査・運営委員との質疑応答を経て、前日の運営委員会で助成団体が決定

B1



高知で自作甲冑教室をやる

高知自作甲冑教室実行委員会

近年、全国各地で開催されるようになった自作甲冑教室の高知市での開催を目指し、今年度は情報収集とニーズ調査、ニーズの掘り起こしのため、十河延康氏(高松市在住)が実施している甲冑教室を視察し、話を伺うとともに、講演会を開催し、同時にアンケート調査を実施します。

B2

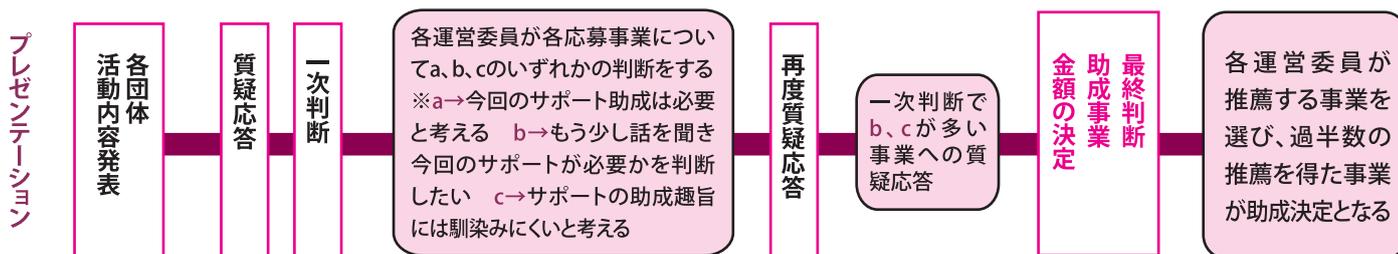


脳卒中で倒れ、入院先で命を救われた障害者への将来に対するアドバイス

脳卒中交流会 I N 高知

脳卒中で急性期を乗り越えた患者たちの、さまざまな将来に対する不安を取り除くため、経験をもとにした現実的なアドバイスや障害年金について今後の生活のための助言を行うなど、倒れられた患者の方たちの命を救うための活動を行います。

●Cコース、Dコース団体の審査流れ



●Cコース

C1



第10回地域ふれあい祭り～共助・近助で仲間作り～

地域ふれあい祭実行委員会

入明地域をはじめとする江ノ口地区の地域住民が災害時において、ともに助け合い支え合う「近助」の活動となるよう、手作り屋台をはじめ、地域の公立中学校吹奏楽部演奏、交通安全コーナー、防災グッズコーナー、また同地区の障害者作業所加工物出店など、たくさんの多世代参加型のイベントを開催します。

C2



重度障がい児(者)やご家族の為のスポ・レク活動教室

はなまるキッズこうち

重度・重複障がい児やそのご家族が地域で安心して暮らせるために、外部講師による講習会(重度障がい児のスポーツ活動、水泳教室、自転車・三輪車教室、理学療法士などによる運動支援技術)の開催や、ハンディキャップヨガ、各種スポ・レク活動、イベント、支援者向け勉強会などを行います。

C3



パネルシアターでコミュニケーション

コミュニケーションスペース お城下ベース

東京、埼玉、愛知から劇団が集結し高知こいこいパネルシアター祭りを行い、会場である薫的神社周辺の街歩きマップを作成し周辺の散策もできるようにする。また、イラストレーターとコラボしてパネルシアターの作成ワークショップを行い、暮らしや防災に役立つツールとして開発、また学校や企業のプレゼンの手段として提案します。

C4



潮江地区津波避難路・防災マップの作成

潮江防災士部会

地震における津波や浸水被害を大きく受けると言われている潮江地区の津波避難路(当団体にて現地調査)マップと、潮江地区の小学生作成の地域防災マップ、2つのマップを作成し、同時掲載して地域に配布(啓発)します。地域住民の日頃からの備えや自助・共助・公助へ繋げ、地域コミュニティの一つに活用していきます。

C5



旭オンリーワン芸術祭

旭オンリーワン芸術祭実行委員会

過去の作品でもいい、生きがいを取り戻してほしいという想いで一人一点、唯一無二の作品を、旭地区住民など主会場ステージ(ソール)で披露、芸術作品を展示する。また参加団体の施設にて街中ギャラリーを実施し参加者が各会場を歩いて回れるようにスタンプラリーも実施します。普段出入りすることがない高齢者や障害者の施設にも足が運ばれることで、旭に在住の人と人が繋がる機会も創設していきたいです。

C6



「人生100年時代」をともに生きる活力ある地域コミュニティづくりを目指す

エンドオブライフ・ケア高知

人生の最終段階に共通する自然経過、自宅・介護施設で求められる症状緩和や、意思決定支援の基礎知識を学ぶ講座を開催します。解決が困難な苦しみを抱えた人に接しても、“援助を言葉にする”ことで、医療・介護の仕事を問わず、一人ひとりが自信を持って人生の最終段階にある人と関われるようになることを目指します。

C7



しろみんアートプロジェクト

城見ヶ丘自治会

団地住民に呼びかけて土手の草引きや雑木の除去を行い、見た目も鮮やかな芝桜を植えたいです。住民全体でこの事業に取り組むことで交流も深まり、また管理をみんなで行うことで自治意識の高まりやコミュニティの醸成をはかっていきます。

C8



伝統芸能「文楽」の学校への出前教室と福祉施設慰問公演

文楽伝統芸能振興委員会高知本部

日本の伝統芸能であり、ユネスコ無形文化遺産にも登録されている人形浄瑠璃・文楽に触れ、体感する「文楽出前教室」を、2020年2月に高知市の小中学校で開催します。また、福祉施設などの慰問公演もあわせて行い、高知市の文化的な地域づくりに貢献していきたいです。

C9



地域を学び、地域を知って、新しいまちづくりに役立てよう

知ろう歩こう高知城下町の会

地域の古地図や古絵図、ガイド資料を手に、残された歴史的な地名を探って歩き、地割り、町割り、まちづくりの歴史を知り、そこに育まれた歴史や偉人の業績等を学ぶためのツアーを7回開催します。その地の歴史や文化への理解と認識を深化し、地域の活性化につなげ、新しいまちづくりや、郷土の発展に資するものを得たいと思っています。

C10



子育て座談会～個性・特性の違いが活かされる共生社会のために～

「育児は育自!」実行委員会

幼稚園などで親に寄り添って話を聞くママパパカフェを開催します。母親の思考が子どもの行動や人生に与える影響の大きさと、両親が未来に希望や目標・ビジョンを持つことの重要性、また物事の見方や捉え方をちょっと変えることで育児や人生が断然楽しく豊かになることを伝えていきます。また一緒に活動する仲間を増やし、関係機関とのネットワークを構築することで、悩みを打ち明けられず、孤立している家庭ゼロを目指します。

C11



無料電話相談“聴いてもらって安心ホットライン”

特定非営利活動法人 キャリア・ライフ高知

週一回無料電話相談や、月一回無料セミナーを開催します。悩みを一人で抱え込んで自分を見失ったり、メンタル不調になることを未然に防止することを目的とする。話を聴かせていただく中で、問題解決への道・方法、進路を見つけられるよう支援を行うことで、孤立する人を救い、つながり・絆を深め、豊かな地域社会づくりの一助としたいと思っています。

C12



いろいろな楽しみ演劇Project

特定非営利活動法人 ワークスみらい高知 薫工ミュージアム

重度・重複障がい児やそのご家族が地域で安心して暮らせるために、外部講師による講習会(重度障がい児のスポーツ活動、水泳教室、自転車・三輪車教室、理学療法士などによる運動支援技術)の開催や、ハンディキャップヨガ、各種スポ・レク活動、イベント、支援者向け勉強会などを行います。

C13



歴史を通して高知市への想いを深め、地域と人を結ぶ

長宗我部会

前年度は情報発信に特化して活動してきましたが、今年度はどうすれば観光資源として生かせるか具体的に実践するため、高知市内でぜひ見て欲しい史跡を挙げ、史跡めぐりツアーのプロトタイプを計画し、ツアー体験してもらうお客様を一領具足隊や地元高知市内と市外(県外)から募って実施します。

C14



産官学民連携によるあじさいの花復活を通じた地域コミュニティ活性化事業 はるのあじさいコミュニティクラブ

前年度に引き続き「あじさいまつり」期間中土曜夜市の開催、春野高校生が栽培したあじさいプランターを用水路沿いに設置します。また川船を皿鉢に模してあじさいを船盛りにしてインスタ映えスポットを作るなど訪れる人にとって魅力のある観光地となることで、住民が自分たちの住む「まち」に誇りを持ち、地域活性化を図りたいと思います。

C15



高齢者による高齢者、地域住民のための豊かな暮らし創り

高知ビッグバンド

芸術や音楽は本来人との距離をもっと近くにあるべきだと考え、イベントをライブ会場や、ホールだけでなく地域の中に入り開催します。また、多くの人々が関わることで人と人がつながりとそのパワーが生まれ音楽がこの地域の文化に、更にはまちづくりに寄与することの一助となる活動を行います。

C16



井戸端わもんを地域へ。こころの居場所づくりプロジェクト

特定非営利活動法人 井戸端わもん

個人事業所のご協力を得て事務所の一角をお借りして、市民が集う心の居場所づくりに着手する機会を設け、話の聞き合い会「井戸端わもんカフェ」定期開催し、お茶を飲みながら傾聴ボランティアも交え、話を聞き合う場を定期的に運営します。

●Dコース

「高知こどもの図書館」の移転に伴う図書館の整備

認定特定非営利活動法人 高知こどもの図書館



現在の施設は耐震性に問題があり、旧県立図書館の1階に移転することに決まりました。子どもたちが本と出会い触れ合える場所、子どもたちに寄り添う図書館、子どもから大人まで誰にとっても居心地のいい図書館を整備目標にし、パーティションや本棚を設置し、整備後は、図書サービスと本を核としたさまざまな文化・芸術の体験を子どもたちに提供します。こどもの本や子育て支援のための講座、講演会を開催し、また、館内のフリースペースで様々な企画展やイベントを実施していきます。

D2



音楽・食・文化・健康を通じた地域住民の交流の場作り

NPO法人こうち音の文化振興会

高齢者、障害者を含めた地域住民の皆さんが気軽に集まってイベントを実施したり、習い事をしたり、コミュニケーションを深めたりするために、トイレなどのバリアフリー施設やスタジオの防音壁などを整備します。体に良い食事やドリンクを出すカフェの営業や、定期的に行う童謡教室や太極舞教室に加えて、声が良くでる「声の七不思議セミナー」や音楽に関連する話題を中心にイベントを開催します。カフェの営業と場所の貸し出し、物販、カンパなどによる収益を見込み、活動を継続していきたいです。

●公開審査会を終えて

<p>●運営委員長 増田 和剛 (高知中・高等学校)</p> <p>高知市のまちづくりの特徴的な一つに、日常生活の中にある課題解決のための手法として、アートと結びつけた地域での活動が近年増えていることに気づきました。</p> 	<p>●副運営委員長 堀 洋子 (社団法人高知県建築士会)</p> <p>今年度は過去17回で最多数20団体の応募が有り、運営委員も遣り甲斐の有る審査会となりました。内容は多種ですが地域活動が増えていました。</p> 
<p>●運営委員 石川 貴洋 (NPO法人環境の杜こうち)</p> <p>今年感じた特徴・変化…文化系企画増。イベントもの減。専門性の地域還元。有名講師の招聘。自己資金確保。当事者自ら活動 などなど</p> 	<p>●運営委員 宮地 貴嗣 (ラ・ヴィータ宮地電機株式会社)</p> <p>高知市を少しでも良いまちにしようとする活動を応援します。一部の市民のためや自己満足ではない事業を目指すようにしてください。</p> 
<p>●運営委員 中平 大輔 (社会福祉法人 昭和会 福祉事業所 えぼし)</p> <p>まちファン事業において「誰のため、何のため。」の活動なのかを再確認させていただきました。各世代の活性化からの波及効果を期待しています。</p> 	<p>●運営委員 四宮 成晴 (四宮計画事務所)</p> <p>お金の使い方が上手な団体が多いように感じました。真摯あるオモイが地域を動かす、それがまちファンなんだな～。</p> 
<p>●運営委員 田中 希和 (公益財団法人 高知市文化振興事業団企画事業)</p> <p>どの団体の活動内容もとても素晴らしく、皆さんの熱意が感じられました。今後も活動が続いていくことを期待しています。</p> 	<p>●運営委員 花岡 英里子 (高知大学)</p> <p>今回初めて参加しました。活動を通じたまちづくりが展開されるのが想像でき、胸が高鳴りました。皆さまのご活躍を応援しています。</p> 

2019
7/20

2018年度公益信託「まちづくりファンド」最終発表会

応募団体・一般を合わせて34名が参加しました。



「B」まちづくりははじめの一步コース

上限
5万円

※各団体の写真は2018年度の活動の様子
★Voice…意見交流で出た意見

トーマン団地第5回桜祭り(桜ウォークラリー)

トーマン団地自治会

私達の団地は、若い人は県外に出てあまりいません。ウォークラリーはそういう方たちに帰ってきてもらえるまちづくりをしていきたいと始めたものです。

団地内の東山保育園の園児とその保護者、高知県立大学看護学部の学生その関係者の方たちを向かえ0歳から95歳まで250名が集って盛大に行われました。また、初めて桜の夜間ライトアップにも取り組みました。

今後は、神輿の政策、補修を夏休みに親子で行ったり、会場内に園児や子どもの絵を展示したり、中学校吹奏楽クラブなど団地内外にも参加を呼び掛けていきたい。

★Voice…

- ・次世代へつなげる元気な活動が、魅力的です。
- ・子供からお年寄りまで幅広い交流ができていいと思います。
- ・地域がまとまり、多くの団体とのコラボが素晴らしい。



子育て座談会～個性・特性の違いが活かされる共生社会のために～

「育児は育自!」実行委員会

私達は皆が心豊かに生き生き暮らせる社会、そして個性や特性を認め、それを活かしてあえる共生社会をつくるため、育児に着目して活動している団体です。

4回開催した子育て座談会のうち後半は幼稚園や子育て支援センターなど親子がいるところに出かけていくことにした。今後も引き続き足を運びやすい、話しやすい雰囲気づくりを意識しながら、開催場所を増やして、座談会に来られた方たちの仲間づくりをしていきたい。

★Voice…

- ・こちらから出かけていくという発想、行動は良いと思います。
- ・子育ての悩みを親同士で共有できる場が持たれて良い。
- ・定期的に行うことで、認知度を上げることが大事ですね。



無料電話相談

特定非営利活動法人 キャリア・ライフ高知

私達は働く上、また人生を歩む中で生じる様々な悩みやストレス、問題を抱えた方、メンタル不調になる方の相談を気軽に、自由度の高い電話(無料)で受ける活動を行っています。相談員にはカウンセラーの有資格者を配置し、研修も実施しました。今後もこの活動を多くの方に知ってもらおうよう名刺サイズのカードを作成、配布し、困ったとき、悩んだときに頼ってもらおうよう活動を行っています。

★Voice…

- ・電話相談で救われる活動に頭が下がります。人は悩みを抱えるとつらいですから。
- ・有資格者を配置しているところがいい。
- ・電話は、顔をあわせなくて相談しやすいと思う



最終発表会



●プレゼンテーション



●各団体に質問などのふせん貼る



●意見交流します



●選んだ団体が活動できているかチェック



地元高知の人にもっと長宗我部氏を知ってもらいたい

長宗我部会

長宗我部氏を中心とした土佐の戦国時代をもっと知ってもらおうと結成され活動しています。今回は特に大河ドラマ化署名運動の活発化するためにWEB署名を行ったことやその他様々な活動を行ったことにより県内外の多くの方々に知ってもらうことができました。今後は長宗我部関連の史跡見学のモニターツアーの開催や大河ドラマ化に向けた署名活動、他県の歴史団体との交流などを通じて引き続き活動を行っていきます。

★Voice…

- WEBを利用し、現在の社会にマッチした広報でいいと思いました。
- 会員が増えていて、すごいと思いました。グッズが効果的だとおもった。ぜひ充実させてください。
- 地元だけでなく、近隣地区との連携がとれているのは素晴らしい。



西畑太刀踊りの復活・祭りの再生

西畑夏祭り実行委員会

60年前に途絶えた西畑太刀踊りを昨年8月6日の岐様夏祭りで復活させ、披露。昔の祭りである西畑太刀踊りと西畑人形芝居を上演しました。また今年度は新たに十代、四十代の若い世代が地域の伝統芸能を継承する活動を大事に思い参加してくれているのもうれしいことです。また既存の西畑人形芝居のリーフレットを一部修正し、西畑太刀踊りも併せて広報しています。今後も作成したリーフレットを活用して活動の広報を行い、協力金や寄付など資金の獲得と若い人材の確保につなげ、高知市の伝統芸能の継承に繋がりたいと思います。

★Voice…

- あっぱれです！消滅する地域の文化の再生、すばらしいですね！
- 60年ぶりの再興嬉しく感じます。
- 若い世代に歴史を知ってもらおうきっかけになると思います。



「春の七草フェスタ」の開催

春の七草フェスタ実行委員会

七草フェスタの活動は里山を活用し、活かしながらスローフードを楽しみ、移住者や来訪者との交流を持つことを目的に活動を行っています。今年で27回目になったこの活動は、手作りの素朴さと自然との一体を感じてもらえるよう食材の準備からすべて地域でできたものを使い、里山の資源を活用して様々なイベントを行っています。祭りの準備段階から地域の子どもたちにも関わってもらい、地域の大人や子どもたちが協働で祭りを作り上げることで豊かな里山を次世代へつなぐことにも繋がっていくことを期待しています。

★Voice…

- 日本の季節、文化が味わえる。
- ふる里づくり、里山づくりの目標、すばらしい活動ですね。
- 楽しそうで行ってみたいです。



いろいろな楽しむ演劇 Project

特定非営利活動法人 ワークスみらい高知 薫工ミュージアム

「いろいろトークカフェ」の開催や県外の先進事例を学び触れ合う招聘公演の開催、高知県立盲学校でのワークショップの開催、タウンモビリティステーションふくねこでの「手話カフェ」の開催など多彩な取り組みを行うことで、障害のある方もない方も、多様な人達が演劇を通じて共生社会を目指そうというプロジェクトを行うことができました。またプロジェクトに興味関心を持ち、協力してくれる個人や団体も増えたが、今後はより多くの団体等も巻き込んで、地域コミュニティのつながりをより豊かにすることを目指します。

★Voice…

- 参加者が楽しめているところがいいですね。
- いろいろな人が非日常の演劇にふれることが良い。
- 演劇を通じ、ワークショップも取り入れながら交流できるのが素敵だと思いました。



産官学民連携によるあじさいの花復活を通じた地域コミュニティ活性化事業

はるのあじさいコミュニティクラブ

あじさい街道復活プロジェクト「春野あじさいコミュニティクラブ」を立ち上げて2年目を迎え、土曜夜市は昨年を上回る約千人の来場者を迎え地元のイベントとして定着してきました。「土曜夜市」の看板も設置することができました。また、広岡地域の樹勢回復に向け「あじさい街道管理マニュアル」を作成し自治会に配布するなど、地域住民、春野高校、商工業者及び行政が連携して伝統ある地域のあじさいを守る活動を行っています。

★Voice…

- ・盛大なイベントですね!まちづくりが(交流を含めて)進んでいます。
- ・イベントコーナーの対象を3世代に分けて設置した点。
- ・がっかり街道の名誉回復に取り組む力強さがつたります。



高齢者による高齢者、地域住民のための豊かな暮らし創り

高知ビッグバンド

高齢化社会の中で、私達の武器であるバンド演奏を通じ、高齢者や障害のある方に一歩出てきてもらうことを目的に、「地域ふれあいコンサート」(西部健康福祉センターで開催)や小高坂更生センターなどでバンド演奏を行いました。今後も「高齢者による高齢者地域住民の為の豊かな暮らし創り」を目指し様々な場所で演奏を行います。

★Voice…

- ・とにかく、いつもワワフル!!元気をもらえます。高齢化の高知をますます盛り上げて下さい。
- ・活動の度に広がっていく様子が素晴らしいと思いました。
- ・これからも高齢の方と一緒に元気になる活動を継続していきましょう。



高知市のまちづくりに学生も参加するぞう

KOCHIのZOU

行ける時やできることだけ参加する場が欲しい、学生や若者の意見をもっとまちづくりに取り入れられる場があればと、この団体を立ち上げました。今年度は小学生が地域行事に運営段階から関わり、イベント「下知っ子ハロウィン」を企画し、実施する活動を高知県立大学の学生が手伝いました。イベントを通じて子どもたちや保護者、地域住民が交流する場づくりができ、道であった時にもお互いに声を掛け合える地域づくりに寄与することができました。

★Voice…

- ・大切な学びをできたところが、素晴らしいと思いました。
- ・問題にぶち当たった時に、遠慮なく「HELP!」と声をあげて解決した点。
- ・まちづくりに必要な3点の発表が具体的で印象的。



アート×地域。キャンプ・防災減災プログラム

シアターTACOGURA(しあたーたごくら)

3年目を迎え地域の文化資源を活かした減災プログラムの完成として演劇を通じて子供達に避難所生活を体験してもらう、また地震の時どういう風に命を守るかをアトラクションで体験する防災脱出ゲームも設定しました。今後も活動を継続的にを行い、薫工ミュージアムや高知大学地域共同学部コミュニティ防災地域再生研究室と連携し、この企画のノウハウをシェアしていく体制を作っていきます。

★Voice…

- ・子どもたちの可能性を信じて、また楽しいイベントから防災を学ぶというナイスなアイデアがいつも楽しいです。
- ・防災活動は、長くあきらめないことが大切だと改めて感じました。
- ・今後、他団体と連携してやっという展開が良かった。



人と猫が共生できる街づくり～地域猫活動～

高知地域猫の会

この3年間の地域猫活動の普及、啓発、広報活動を通じて、住民が主体となり三者協議で取り組む活動として地域に広げることができましたが最終的には地域住民が独自の力で継続していくのが望ましいと考えます。今後も、高知市との協働でボランティアリーダーの育成、協力獣医師の発掘を目指し、さらに継続して啓発広報も行っていきます。

★Voice…

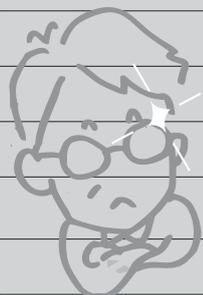
- ・まちファンから、このような事業が生まれたことがうれしいです。
- ・地域猫の活動、高知市に広く認知されつつ、成果をあげている。すばらしい!
- ・ボランティアリーダーが自発的に生まれているところがすごいです。



増田ノオト 最終発表会を終えて一委員長のつぶやき

「高知市まちづくりファンド」がはじまり16年…、
まちづくりのカタチは、いろいろあり、地域のチカラにつながっています。

地域によって状況は
いろいろです。
地域にあった
コミュニティをつくる
取り組みが必要です。



地域の課題を見つけて
単発イベントで終わらず
取り組みを継続していくこと
が大事ですね。

地域の中に
活動拠点がある事は
最大の武器!

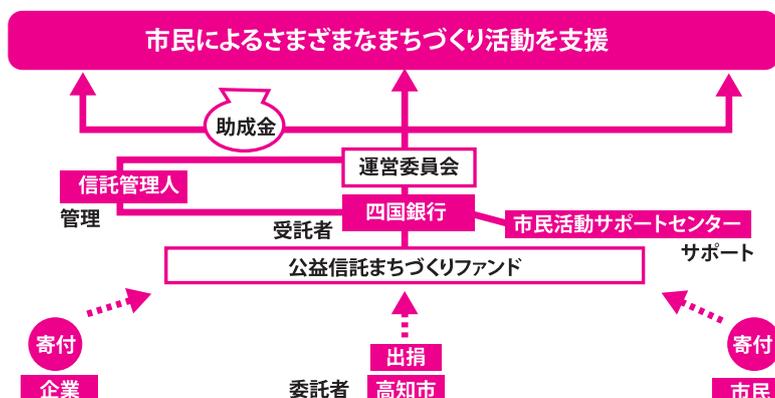
情報は過剰にありすぎ
かえて伝えたい人まで
届けるのが難しいなあ。

これからも
まちづくり
ファンドを
よろしく!

16年間で「アートのチカラ」をつかったまちづくりは何事業あったか、この機会に振り返ってみたい…

公益信託高知市まちづくりファンドのしくみ

公益信託「高知市まちづくりファンド」は、「高知市
市民と行政のパートナーシップのまちづくり条例」
に基づき、高知市を住みよいまち、豊かな地域社
会にするためのまちづくり事業に助成します。市民
同士の交流やまちづくりの学びの場となること
を目的として、第15回となる2017年度から、「まち
づくりたまごコース」を新設し、より多くの市民に
興味を持ってもらい、まちづくりに参加するきっ
かけとなるような運営を目指しています。



寄付のお願い

まちづくりファンドは皆様の
まちづくり活動を支援する仕組みです。

まちづくりファンドの創設にあたり、高知市から出捐
(しゅつえん) された基金を毎年取り崩しながら助成
しています。少しでも長く市民のまちづくり活動に活
かせられるよう、多くの皆様のご寄付をお願いいたし
ます。

寄付に関するお問い合わせ・お申し込みは、下記にご連絡ください。

株式会社 四国銀行 コンサルティング部 信託担当
TEL088-871-2337(直通)
〒780-8605 高知市南はりまや町1丁目1-1

お問い合わせ

高知市市民活動サポートセンター (月～金 10:00～21:00、土 10:00～18:00)
TEL 088-820-1540 〒780-0862 高知市鷹匠町2丁目1-43 高知市たかじょう庁舎2階
E-mail info@shiminkaigi.org URL http://www.kochi-saposen.net

2019年度(第17回の予定)

中間発表会 2020年1月19日(日)
最終発表会 2020年7月18日(土) ※予定

■高知市市民活動サポートセンター

市民活動の輪を広げようと、1999年4月に高知市が設置
した施設です。現在、「認定特定非営利活動法人 NPO 高知
市民会議」が運営を担っており、貸会議室の利用(要登録)、
ボランティアや市民活動に関する様々な相談や情報提供、
活動に必要な機器の貸出しにも応じています。仲間を広
げたり、活動のお知らせをする掲示板や団体が利用できる
メールボックスもあります。活動の参考になる講座等
も開催していますので、お気軽にご活用ください。